



2014～2015年度のRIテーマ
「ロータリーに輝きを」(Light Up Rotary)
R.I会長/ゲイリーC.K.ホァン

2014～2015年度 第2740地区スローガン
『地域に輝くロータリー』
ガバナー 宮崎清彰



2014～2015年度
諫早西ロータリークラブ標語



『心の火を燃やそう』

第1427例会 2015年3月11日例会記録 NO.32 天候 晴れ

【本日】	会員数 39名	出席 32名	欠席 5名	休会 1名	出席率 86.48%	ビジター 0名
【前々回】	会員数 39名	出席 34名	欠席 3名	MC 3名	出席率 100%	

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

会長/辻本善樹 幹事/木村暢義 創立日/昭和60年2月20日 認証日/昭和60年3月5日
 例会場/平安閣 諫早サンプリエール(毎週水曜日) 〒854-0053 諫早市小川町71-1 TEL(0957)24-3907
 事務局/諫早商工会議所内 〒854-0016 諫早市高城町5番10号 TEL(0957)22-3323
 会報委員/山本健志・中村正美・宇土久・千住良治・原田典範

HP/<http://isahaya-west.com> E-mail/info@isahaya-west.com

会長の時間

「東日本大震災復興の4年」

3月11日で東日本大震災発生4年となります。地震と津波で死者・行方不明者2万人弱の被害で、現在でも8割が仮設住宅に住んでおり、復興がまだまだ進んでいません。住宅建設も、用地買収や建築資材不足そして労働者不足で計画の16%しか進んでいないし、我々が協力した復興予算も2兆6500億円が使われていない状況です。

そんな中、宮城県女川町が復興連絡協議会を中心に災害地区では一番早い復興計画を進めているとの報道を見ました。当初は防潮堤を作って津波からの被害のない町をつくる計画でした。しかし、高さ15mの防潮堤をつくるために盛り土をすると100mの幅で町を横断して、有効な土地が少なくなり、圧迫感が強くなります。それでは、本来、海の見える風景の町の姿がなくなるとの判断で、かさ上げした町づくりを目指すそうです。かさ上げた海の近くは漁協の建物やみんなの広場やイベント場をつくり、それよりもかさ上げた所に市街地をつくり、さらにかさ上げた土地に居住地をつくるそうです。このように、自然に立ち向かって防ぐのではなく、いかに被害を少なくして自然との共生を図ろうとする姿勢を取っています。

このような計画ができたのも、復興連絡協議会が中心になって話し合ってきた成果です。協議会は最初、年寄りを中心でしたが、復興には長期間かかるということで、新しい発想があり、しがらみのない、そして長期的な視野を持っている30、40代を中心にして、ベテランは調整役になったことがよかったのかもしれませんが。「還暦以上は、口出すな」と若い人たちの意欲が表れています。そして、外から若い人を呼び込んで住んでもらえる町にしようがんばっています。

「還暦以上は、口出すな」の意気込みで、若い人がもっと意欲を持って参加することは、国の政治や地方の行政、さらに、ロータリークラブでも重要な事だと思いますので、我がクラブも復興策を考えないで済むように、若い新入会員を増やして、永久に不滅なクラブにしましょう。

幹事報告

【例会変更】

※なし

【お知らせ】

※ ガバナー事務所より

①「2015年ロータリー国際大会ツアー」のご案内

日時：平成27年6月3日（水）～11日（木）

場所：ブラジル・サンパウロ

申込期限：3月31日（火）

②「地区グローバル補助金小委員会会議」のご案内

日時：平成27年4月18日（土）14：00～

場所：ホテルニュー長崎地下1階珊瑚の間

※ 諫早商工会議所より

「新就職者激励会」のご案内

日時：平成27年3月26日（木）9：30～

10：00

場所：グランドパレス諫早

◆早田会員退院祝い

<2月結婚記念日>

吉田 知之 君 H 1年2月12日

<3月誕生日>

木村 暢義 君 S 30年3月 3日

日高 正朗 君 S 22年3月 8日



委員会報告・その他

・30周年記念誌委員会・広報委員会

前回に引き続き例会後、隣の会場で記念誌用の会員一人ずつ写真撮影を致します。ご協力お願いします。

本日、タブレット端末（ipad mini 3）のチラシお配りしています。3月末まで低価格で購入できます。興味がある方はご購入ください。

・職業奉仕委員会

職場訪問と軍艦島（端島）上陸体験ツアー参加のご案内
諫早西RC職業奉仕委員会は、今年度事業計画で上げております県を代表する企業、三菱重工業長崎造船所の職場訪問及び、世界遺産登録予定であります軍艦島（端島）への上陸体験をコースとしたバスツアーを下記の日程に

て計画いたしました。これを機に、是非ご参加頂けるようご案内申し上げます。

尚、ご夫人の参加も可能ですのでお誘いの上、お申込み下さい。

日 程：平成27年5月13日（水）

参加費：3,000円

出発場所：平安閣 駐車場

出発時間：9時00分

コース：諫早出発 9:00 — 三菱重工出発
11:40 — 昼食（四海桜）出発 13:40—
長崎港 14:00 発 — 軍艦島（端島）
16:00 発 — 長崎港 17:00—
諫早着 18:00

※雨天による欠航の場合は市内観光となります

・30周年記念実行委員会

創立30周年記念旅行のご案内

団長 早田和彦君 事務局 永井栄次君に決定

①国内 北海道（函館・札幌）9月6日（日）～9日（水）
3泊4日

②海外 台北 台中 11月15日（日）～18日（水）
3泊4日

に決定しました。



辻本 善樹君：昨日は4～5年振りに3月に雪が降り急に寒くなりましたので皆さん体調をくずさないように健康に御注意下さい。

木村 暢義君：誕生日お祝い有りがとうございます。

日高 正朗君：誕生祝、ありがとうございます。68才になりました。増々元気でロータリー活動に精進します。今後共宜しく御願致します。

荒木 公義君：早田団長、（30周年記念旅行）先日の就任祝ではごちそうさまでした。

川野 弘茂君：ロータリーのおかげで、結婚記念日を忘れずにすみます。ありがとうございます。

永井 栄次君：先日、30周年記念の旅行打ち合わせを行い、旅行の行先と時期について決定しました。参加される皆様にとって、すばらしい思い出になるよう完ぺきに準備を進めております。尚、今回の一行の団長に早田さんに努めていただく事になりました。周年事業最後の花を飾って下さい

ます。よろしくお祈りします。

福田 和幸君：早田会員、30周年記念旅行団長就任おめでとうございます。バンザーイー。

松井 純治君：早退します。

吉野 尋隆君：早退します。

本日の合計(3/11)	累計額
¥33,000	¥1,211,540

クラブフォーラム

「創立30周年記念式典を終えて」

辻本会長

創立30周年記念事業が無事終了できましたのは、会員全員の協力のおかげと感謝しています。振り返れば、2012年10月に30周年記念実行準備委員会を立ち上げ、その後10数回の会議を行ったことを思い出します。吉次実行委員長、平実行副委員長、会計の松藤会員、日高総務委員長、永井記念事業委員長、荒木接待委員長、小野式典委員長、吉田祝宴委員長、山崎救護委員長、仕事は終わっていませんが中村会員と交代した清水記念誌委員長、そして、会長を支えていただいた木村幹事には本当にありがとうございました。

記念事業のモニュメント時計台では、設置場所、設置時期や経費などで永井委員長はかなり苦労したと思います。しかし、設置場所はミニバスケット大会の会場である諫早中央体育館に決めたことで、がんばらんば国体では訪れた関係者には非常に好評であったと聞いています。経費はかなり掛かりましたが、諫早市の市花であるシャクナゲをモチーフにした時計台は見栄えもよく、花壇もよく手入れされ予想以上のできだと私は思っています。除幕式が終わってから市長は私にしばらくシャクナゲについて話をしていましたので、かなり気にいったようでした。

記念式典の準備では、12月16日に祝宴に出す料理を試食し、量は十分だが、年寄りには肉類が多いとの評価でした。年が明けてからは、繰り返してリハーサルを行ったおかげで、本番はスムーズに行えたと思っています。

いよいよ記念式典の日がきました。まず、除幕式はあいにくの雨でしたが、除幕式が始まる頃には雨もやみ、除幕式も記念写真も無事終了できました。

平安閣にもどり、昼食を済ませ記念写真をとり、お迎えの準備です。接待は荒木委員長からの奥様方への指示で、おもてなしの気持ちが伝わったのか、出席者からはすばらしい接待との評価を受けました。

式典は、時間通りの14時30分に御厨会員の司会で

始まりました。リハーサルのおかげで、来賓および参加クラブの紹介は問題なく済み、会長挨拶も間違えずに無事終了し、ひとまず安心しました。来賓祝辞では、我がクラブが行っているミニバスケット大会、ダービースクールとの交流会、そして、留学生との交流会への高い評価をいただきました。そして、来訪者への握手をしての温かいお迎え、この温かさが当クラブの特徴であるとお褒めの言葉もありました。

出席優良会員表彰では、山崎会員以下9名が堂々と表彰を受けられ、式典が格調深くなったと思います。「30年のあゆみ」では、体調不良の中、声を振り絞って語っていただいた平会員には本当に感謝しています。

祝電披露では、木村会員の御計らいで安倍首相のお祝いのビデオレターが放映され、ほとんどの出席者は感嘆の声を上げていて、素晴らしいサプライズであったと思います。式典はほとんど予定通りの時間に終わったことは、リハーサルのおかげだと本当に感心しました。

16時からの記念講演は、ハイアットリーゼンシーサイパンの総支配人の西川克志氏の講演でした。「外資系企業で働くサムライ」という演題でホテル勤務33年間のホテルの内幕、いろいろなお客さんへの対応、天安門事件当時の中国のホテルでの経験などを巧みな話し方で聴衆をぜんぜん飽きさせない心にジンとくる素晴らしい講演でした。講演後の木村幹事のお礼の言葉の後に花束贈呈の予定でしたが、手違いで花束がなく慌てましたが、木村幹事の機転で胸に刺していたリボンを花束の代わりに西川氏に渡したことで、会場の笑いも取ってうまく納めていただきました。

祝宴はかわいく清廉な諫早ジュニア合唱団の唱歌で始まり、野中会員の巧みな水を得た司会で進められました。栗林英雄パストガバナーの心温まるお祝いの言葉と千葉ガバナー補佐の乾杯で祝宴に入りました。祝宴での役所広司のお祝いのビデオレターも出席者には大きなサプライズでした。吉次委員長ご苦労さまでした。

キルシュの三重奏の演奏は会話を邪魔せずに気品のある祝宴にしてもらったと思います。料理も非常においしく量も十分で出席者の評価も最高でした。さらに、来賓席のテーブルには次々と料理が運ばれて、みなさん満足していたようです。宇土会員の努力のおかげだと感謝しています。ソングリーダーの日高会員の指揮で「手に手つないで」を全員で歌い、森地区幹事の「諫早西ロータリークラブは不滅です」の言葉をいただいて万歳三唱が行われました。最後に、記念式典に誠心誠意、情熱を傾けてきた平実行副委員長の閉会のことばで無事終了しました。

会員だけでなく奥様方も並んで握手をしながら出席者をお送りしていただいたことは、私が「おもてなし」の気持ちで記念式典をしたいという思いが十分達成できたと感謝の気持ちで一杯です。

最後に、記念式典と祝宴がこんなにも素晴らしいものとなったのは、会員全員の御協力と、それまでの準備とリハーサルのおかげです。そして、この貴重な経験を生かして、今後の40周年さらに50周年記念事業に役立ただせていただければ幸いです。みなさま、本当にお疲れ様、そしてありがとうございました。

「30周年を終えて」

木村幹事

約2年前から実行委員会を立ちあげて、全員で取り組みをよくやったと思います。

最初は幹事だけでも大変、と思いながらやってきましたが、思いのほか実行委員の皆様の本気度がすごく、数十回の打合せ等、良くいろんな意見を出しながら頑張ってくれたと、皆様にとっても感謝しております。

地区大会を見ても、この前のIMにしても「他のクラブはあんなものか！」と思うぐらいでした。いろんな演出にしても、キャバに対しての人員の入れ方（平さん最高↑）、おもてなしのありかた、全てが良かったと思います。銀行関係や知人等のお客様から満足度が高かった話も聞いております。

最後にオチはありましたが、あれはあれで西クラブは役者が多いと、いい方に取ってもらえたのではないかと思います。

実行委員会の皆様、全会員の皆様、本当にお疲れ様でした。こうして振り返ってみて、改めて、私は30周年の幹事を会長とともにやれたことを本当によかったと思っています。皆様、本当にありがとうございました。

